



散歩のまち

近頃は「しばらく!!」「お元気でしたか?」のあいさつに加えて「ワクチン打ちましたか?」「何回目?」という会話が多く聞かれます。

コロナウイルス感

染症第5波の中、東京オリンピック・パラリンピックの主催都市として無事役目を終えた東京では、1日の感染者数が5000人を超えた日もあり、緊急事態宣言が延長され医療機関も逼迫、多くの感染者が自宅療養を余儀なくされました。最近では感染者数も減少傾向となっておりますが、その最大の要因は、高齢者を先頭にワクチン接種の普及率の向上でありましょう。しかしながらそ

の一方で、働き盛りの年代や子育て世代の感染者の増加が顕著となり非常に心配であります。市といたしましては一日も早く集団・個別接種事業を完遂したいと考えております。

コロナ禍でも四季は巡ります。稲作を基幹産業とする本市では、台風などの自然災害に見舞われることなく無事稲刈りが終了したことは喜ばしいことです。米価の下落が予想される中、まずは、みんなでおいしいご飯を食べて、消費拡大に努めていきましょ。農繁期も終わった10月は、スポーツ・芸術・文化・行楽などに参加し、錦秋を思う存分楽しむ季節ですが、各イベントなどは

2年続けて中止や自粛を強いられています。ならば「食欲の秋」と思えども飲食店などにも制限がかけられており、欲求不満・ストレス満腹。このような状況下で密を避け、ソーシャルディスタンスを保ち、健康増進と爽快感を得るには「散歩のまち匠」が提唱する散歩でありましょ。市ではこの

たび、従来のふるさと自然散策道などに加え、新たに若手職員が厳選した「11の散歩ルート」を設定いたしました。市ホームページのほか駅前「匠の里」などでルートマップをご用意しておりますので、どうぞお出掛けください。私も折を見て歩いてみようと思っております。

匠瑤市長 太田安規

春海を歩く

水の神

刈り取りの済んだ干潟八万石を眺めながらコロナ禍の秋祭りを気に掛け水神社を訪ねました。数年前から神社や寺院の御朱印がブームと聞いていきましたが、この日参詣者に出会いました。春海の水神社はおよそ



春海の水神社

350年前、榑湖が干拓され新田18カ村の成立に伴いまつられた「三社五カ寺」のうちの一社です。1670(寛文10)年から始まった干拓工事の無事をこの三社に祈願したとされ、工事完了後の1678(延宝6)年に

幕府から建物が許可されました。そして新田村の総鎮守として農民の信仰を集めました。榑新田の販売は1674(延宝2)年から開始されましたが、まだ湿地が多く農民の屋敷地には適さなかったものの幕府が移住を奨励するなど

匠瑤探訪

185

したため次第に定住が進み、工事開始から25年ほどたった1695(元禄8)年に検地が行われました。その検地帳に「水神宮の境内地五畝十八歩」とあり、この記録は翌年に成立した春海村のいわば土地台帳に当たるものです。

境内に残る1777(安永6)年に奉納された手洗石には「水天宮」と刻まれ、当時はそう呼ばれていたのでしょう。

1840年代の記録には「春海村 榑水天宮」「春海村 水神弁財天」などともあります。

神社境内には多くの石祠(石の宮)がまつられています。「榑荷宮」「子安大明神」「天満宮」「大杉大明神」、さらには「庚申塔」など1750年代から春海村全体や個人が寄進し造立されました。水神社の秋祭りは例年とはやや形を変えて行われるとのこと。 (市文化財審議会委員・

依知川雅一)

関秘書課広報聴班

☎73・0080

文芸コーナー

短歌

依知川雅一 推薦

パラを觀て人に不可能無きを知る

老い行く我も勇氣を得たり

暑い日を海に沈めてゆく夏を

追いかけてゆくつくづくぼうし

叱られてゴメン言えず飼いだは

悲しい目をしてうつつむいたまま

夏空に思い届かず雨多し

九月になりてひまわりの咲く

コロナ禍に家の片付け汗まみれ

白黒の笑みアルバムの中

食卓に彩り添える生野菜

汗ふく娘の笑顔はじける

暮れなすむ林の中や蝉しぐれ

今宵かきりと互いを励ます

川口城司 推薦

デイサービスの今日の浴室笑顔満ち

足の指まで洗ひ呉るるよ

百円のポットの苗のゴールドマリ

黄色オレンジ夏を彩る

大木 洋一

鈴木 志子

桑原 宏子

鈴木 和子

小川 一夫

川手 芳

伊橋 勝利

小川 知至

伊橋 良子

俳句

高安せい子 推薦

老いるとは小さくなること菊の酒

秋霖や昇降口で待ち合わせ

八月や家居の多き子の日記

秋霖に濡れて一葉揺れやまず

秋霖や静かにめくるカレンダー

重箱の厚焼き卵運動会

岩井 やす

安藤 建子

大川 宜子

椎名 晴江

椿 和枝

佐々木ゆき子

川口城司 推薦

あぶら蟬無常の風よ時至る

夏がゆくセミの声から虫の声

伊藤 定子

野仲 妙子

川柳

勝又康之 推薦

残念だ魚元気で糸切れた

満点を師疑いの目カンニング

白髪抜き残念だこれ黒い毛だ

夢うつつピフテキ前に目が覚めた

熟れた柿カラスがみんな食べちゃった

残念だ土用の日からダイエット

入院後僅か五日で夫逝く

土屋 秀雄

岡田けい子

佐久間美智子

中村 九藏

江波戸京子

安藤 幸恵

鶴澤 澄子

川口城司 推薦

変異株ギリシャ文字では足りないか

おもてなし日本の夏てくる平和

百年時代どうなるかと鏡見る

石田 津

石橋 春歩

須貝 玉泉

力作募集中

宛先：匝瑳市秘書課広報広聴班 〒2289-2198 匝瑳市八日市場ハ793番地2
☎73-0080 FAX72-1114

図書館だより

匝瑳市八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

●休館日…毎週月曜日・7日(木)

図書除菌機

八日市場図書館の「図書除菌機」が新しくなりました。本の表面のほか、中も除菌できるようになり、より一層清潔にご利用いただけます。



紫外線を照射して除菌

また、これまで使用していた除菌機はのさか図書館に設置しましたのでご利用ください。

読書週間

10月27日(水)から11月9日(火)まで(文化の日を中心にした2週間)は「読書週間」です。

読書週間は、終戦の2年後の昭和22年11月、「読書の力によって、平和な文化国家をつくろう」という決意のもとで始まりました。第75回となる今年の標語は「最後の頁を閉じた 違う私があった」です。



図書館ホームページはコチラ
<https://www.library.sosa.chiba.jp>

おすすめの本

『白光』

朝井まかて／著 文藝春秋

ハリストス須賀正教会(蕪里)のイコン(聖画)制作者でもある、日本人初のイコン画家・山下りんの波乱の生涯を描いた物語です。

『さよならの向う側』

清水晴木／著 マイクロマガジン社

人は亡くなった時、最後に一日だけ現世に戻って、会いたい人に会える時間が与えられる。ただし、会えるのは“あなたが死んだことをまだ知らない人”だけ。さまざまな人たちと案内人が織りなす、最後の再会の物語。